



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東
 コード番号 4310 URL <http://www.dreamincubator.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)堀 紘一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)原田 哲郎 (TEL) (03)5532-3200
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,385	15.0	519	6.3	537	13.2	441	37.9
25年3月期第2四半期	3,813	31.8	489	23.8	474	22.3	320	△8.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,273百万円(311.9%) 25年3月期第2四半期 309百万円(△33.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4,571 36	4,340 01
25年3月期第2四半期	3,340 13	3,318 89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,877	10,729	69.8
25年3月期	12,056	9,622	71.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,686百万円 25年3月期 8,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	0 00	0 00	0 00	2,100 00	2,100 00
26年3月期	0 00	0 00			
26年3月期(予想)			0 00	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの事業は、コンサルティング事業及びベンチャー投資育成事業から構成されております。コンサルティング事業は安定性が高い一方、ベンチャー投資育成事業の一部については売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社デライト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	96,707株	25年3月期	96,318株
26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
26年3月期2Q	96,603株	25年3月期2Q	95,857株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 生産、受注及び販売の実績	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は4,385百万円と前年同期に比べ571百万円(15.0%)の増収、経常利益は537百万円と前年同期と比べ62百万円(13.2%)の増益、四半期純利益は441百万円と前年同期と比べ121百万円(37.9%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

① コンサルティング事業

コンサルティング事業セグメントは、既存顧客である大企業への戦略コンサルティングに加え、経営幹部育成やM&Aアドバイザーといったサービスラインの拡充を図り、海外拠点でのサービスの提供等に注力しましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,084百万円(前年同四半期は1,408百万円)、セグメント利益(営業利益)は256百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)600百万円)となりました。

② ベンチャー投資育成事業

ベンチャー投資育成事業は、保険事業、営業投資事業、その他事業の各セグメントにより構成されております。

保険事業セグメントには、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット医療向け保険が含まれ、当第2四半期連結累計期間においてペット医療向け保険の加入件数は順調に増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,421百万円(前年同四半期は1,989百万円)、セグメント利益(営業利益)は173百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)223百万円)となりました。

営業投資事業セグメントにおいては、既存投資先ベンチャーのうち、当社が深く支援することで成長加速が見込まれる先とそれ以外の先について選別し、集中すべき先については資金と人材を投入、それ以外については売却を進めました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は478百万円(前年同四半期は128百万円)、セグメント利益(営業利益)は323百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)53百万円)となりました。なお、当第2四半期連結会計期末時点の保有上場有価証券の含み益(潜在株式を含む)は1,446百万円であります。

その他事業セグメントには、連結子会社が行っているリバースサプライチェーン事業及び知的財産権への投資事業が含まれ、当第2四半期連結累計期間の売上高は400百万円(前年同四半期は287百万円)、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)63百万円)となりました。

なお、前連結会計年度においてソフトウェア開発事業を行っていた株式会社デライトが第1四半期累計期間において清算終了したことに伴い、ソフトウェア開発事業セグメントを報告セグメントから除外しております。

また、報告セグメントの損益の測定方法を変更しており、前年同期比較については、変更後の報告セグメントの利益又は損失の測定方法により作成した報告セグメントごとの数値で行っております。詳細は、添付資料13ページ「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用を中心とした販売費及び一般管理費の計上などにより、報告セグメントの利益の合計額との調整額が△236百万円(前年同四半期の調整額は△217百万円)となりました。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第13期 第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		第14期 第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンサルティング事業	1,408	36.9	1,084	24.8
保険事業	1,989	52.2	2,421	55.2
営業投資事業	128	3.4	478	10.9
その他事業	287	7.5	400	9.1
合 計	3,813	100.0	4,385	100.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期末における資産は13,877百万円（前期末比1,821百万円増）、負債は3,148百万円（同713百万円増）、純資産は10,729百万円（同1,107百万円増）となっております。

前連結会計年度末比での資産の増加の主な理由は、収益の拡大等により現金及び預金が増加したこと、投資先ベンチャーのIPO完了に伴う株式の時価上昇により営業投資有価証券が増加したことなどが挙げられます。また、純資産増加の主な理由は、当第2四半期連結累計期間において四半期純利益を計上したこと、投資先ベンチャーのIPO完了に伴う株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したためであります。

②連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して118百万円増加し、3,616百万円となりました。これを活動別に記載しますと、以下の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、998百万円の増加になりました。これは主に、保険事業に係る収入の増加並びに営業投資有価証券の売却による増加であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、706百万円の減少になりました。これは主に、定期預金の預入及び保険業法第113条繰延資産に該当する費用の支払によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、189百万円の減少になりました。これは主に、配当金の支払及び連結子会社である日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合の少数株主への分配金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

①コンサルティング事業

既存顧客への戦略コンサルティングや産業プロデュースに引き続き注力しつつ、経営幹部育成やM&Aアドバイザーといったサービスラインの拡充を図っておりますが、ベンチャー投資育成事業へのリソース投入を増加させていることから、通期では前連結会計年度並の売上高を見込んでおります。

②ベンチャー投資育成事業

保険事業セグメント売上は、当第2四半期連結累計期間において順調に推移しており、通期では前連結会計年度に対して20%程度の売上高成長率を見込んでおります。

また、その他事業セグメントにおいては、リバースサプライチェーン事業が拡大フェーズに入ることによる売上規模の拡大を見込んでおります。

営業投資事業セグメントにつきましては、当第2四半期連結累計期間において投資先ベンチャーの内、2社のIPOが完了しており、本決算短信発表日現在において更に1社のIPOを予定しておりますが、売上高が株式の売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴い振幅するため、業績の見通しは立てにくい状況が続くものと考えております。

(4) 生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当社は生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資事業につきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
コンサルティング事業	1,520	1,038	△31.7
保険事業	1,989	2,421	21.7
その他事業	287	400	39.2
合計	3,797	3,860	1.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティング事業	1,084	△23.0
保険事業	2,421	21.7
営業投資事業	478	272.2
その他事業	400	39.2
合計	4,385	15.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

④投資実績

証券種類	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)				当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式	—	—	2,140	35	32	3	2,084	35
新株予約権等	—	—	0	23	—	—	0	22
合計	—	—	2,140	47	32	3	2,084	46

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IP0企業の株式をIP0後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下の通りであります。

前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
765百万円	739百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社デライトは清算終了に伴い、連結の範囲より除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,869	5,296
売掛金	927	1,366
営業投資有価証券	2,653	3,510
投資損失引当金	△221	△221
有価証券	20	20
たな卸資産	53	99
繰延税金資産	341	368
その他	401	323
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	9,012	10,731
固定資産		
有形固定資産	198	199
無形固定資産		
のれん	966	913
その他	472	450
無形固定資産合計	1,438	1,363
投資その他の資産		
投資有価証券	19	19
長期貸付金	79	79
繰延税金資産	—	9
その他	270	306
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	309	356
固定資産合計	1,947	1,918
繰延資産		
保険業法第113条繰延資産	1,095	1,228
繰延資産合計	1,095	1,228
資産合計	12,056	13,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39	68
リース債務	4	4
未払金	92	99
保険契約準備金	1,895	2,243
支払備金	191	244
責任準備金	1,703	1,998
未払法人税等	89	92
繰延税金負債	—	292
賞与引当金	30	—
役員賞与引当金	13	—
その他	255	199
流動負債合計	2,420	3,000
固定負債		
リース債務	13	11
繰延税金負債	—	136
固定負債合計	13	147
負債合計	2,434	3,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,638	4,656
資本剰余金	4,819	3,472
利益剰余金	△585	1,017
株主資本合計	8,872	9,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△146	636
為替換算調整勘定	△98	△96
その他の包括利益累計額合計	△244	540
新株予約権	167	192
少数株主持分	827	850
純資産合計	9,622	10,729
負債純資産合計	12,056	13,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,813	4,385
売上原価	1,891	2,263
売上総利益	1,922	2,121
販売費及び一般管理費	1,433	1,601
営業利益	489	519
営業外収益		
為替差益	—	7
その他	6	11
営業外収益合計	6	19
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	14	—
金利スワップ評価損	6	—
その他	0	0
営業外費用合計	21	1
経常利益	474	537
特別利益		
新株予約権戻入益	1	—
特別利益合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	476	537
法人税、住民税及び事業税	65	75
法人税等調整額	23	△26
法人税等合計	89	49
少数株主損益調整前四半期純利益	386	488
少数株主利益	66	46
四半期純利益	320	441

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386	488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	783
為替換算調整勘定	△7	1
その他の包括利益合計	△77	785
四半期包括利益	309	1,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	1,226
少数株主に係る四半期包括利益	66	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	476	537
減価償却費	58	62
のれん償却額	63	63
保険業法第113条繰延資産償却費	103	134
支払備金の増減額(△は減少)	42	52
責任準備金等の増減額(△は減少)	169	295
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	△30
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△13
株式報酬費用	24	34
支払利息	0	1
為替差損益(△は益)	14	△7
新株予約権戻入益	△1	—
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	91	345
売上債権の増減額(△は増加)	△632	△438
たな卸資産の増減額(△は増加)	20	△46
仕入債務の増減額(△は減少)	3	29
未払金の増減額(△は減少)	△16	1
その他	△83	35
小計	295	1,056
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△0	△1
法人税等の還付額	2	2
法人税等の支払額	△27	△62
営業活動によるキャッシュ・フロー	273	998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,316	△1,380
定期預金の払戻による収入	2,106	1,072
有価証券の売却及び償還による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△43	△28
関係会社株式の取得による支出	△3	△24
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△41
貸付けによる支出	—	△45
保険業法第113条繰延資産の増加額	△245	△266
その他	△11	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,480	△706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	3	23
リース債務の返済による支出	△1	△2
配当金の支払額	—	△199
投資事業組合等における少数株主への分配金支払額	△11	△13
その他	—	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9	△189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,725	118
現金及び現金同等物の期首残高	1,395	3,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,121	3,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

平成25年5月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	202百万円
② 1株当たり配当額	2,100円
③ 基準日	平成25年3月31日
④ 効力発生日	平成25年6月17日
⑤ 配当の原資	資本剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年6月13日開催の第13回定時株主総会決議に基づき、資本準備金の額3,516百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金のうち1,161百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンサルティング 事業	保険事業	営業投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,408	1,989	128	3,526	287	3,813	—	3,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	0	0	△0	—
計	1,408	1,989	128	3,526	287	3,813	△0	3,813
セグメント利益又は 損失(△)	600	223	△53	770	△63	706	△217	489

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額が含まれております。
 - (2) セグメント利益又は損失の調整額△217百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社での一般管理費用であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンサルティング 事業	保険事業	営業投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,084	2,421	478	3,985	400	4,385	—	4,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,084	2,421	478	3,985	400	4,385	—	4,385
セグメント利益	256	173	323	752	3	755	△236	519

- (注) 1 セグメント利益の調整額△236百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社での一般管理費用であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においてソフトウェア開発事業を行っていた株式会社デライトが第1四半期累計期間において清算終了したことに伴い、ソフトウェア開発事業セグメントを報告セグメントから除外しております。

また、従来、営業費用はすべて各事業に配分しておりましたが、第1四半期連結累計期間より本社管理部門に係る費用については、セグメント利益又は損失の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。これは、事業の多角化に伴い、各事業に対する本社の統括機能の比重が高まったことを契機として業績管理手法を見直したことによるものであります。

これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントは、変更後の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。